

PIベースレジメン失敗後の耐性パターンは複雑である可能性

- PI、特にブースターを併用しないPIへの曝露中に、いくつかのプロテアーゼ変異が発現する。
- V32I、M46I/L、G48V/M、I50V、I54V/T/A/L/M、L76V、V82A/T/F/S、I84V、N88S、L90Mはある程度の交差耐性を引き起こす¹。
 - 同じ位置の変異でも、異なるPIに異なる影響を及ぼすことがある。
- DRVおよびTPVは、従来のPIに耐性を示すウイルスに対して活性を保持していることが多い。
 - これらの新しいPIに関しては、多くの薬剤に耐性を有する患者で臨床的有用性が示されている。
 - DRV：変異数が3つ以上の場合、効果が減弱する：V11I、V32I、L33F、I47V、I50V、I54L/M、T74P、L76V、I84VおよびL89V²

1. Wensing AM, et al. *Top Antivir Med.* 2019;27:111-121.

2. De Meyer S, et al. 2008 European Drug Resistance Workshop. Abstract 54.